

平成 27 年 9 月 9 日

関係各位

第 9 回日本禁煙学会学術総会関連イベント 「タバコフリーキッズ in 熊本」お礼



くまもと禁煙推進フォーラム代表

熊本市民病院首席診療部長兼神経内科部長

橋本洋一郎

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から、くまもと禁煙推進フォーラムの活動に対して格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、くまもと禁煙推進フォーラムと国立がん研究センターは共同で、熊本市立西里小学校および熊本保健科学大学等のご協力をいただき、地域学習・IT 教育の一貫として「タバコフリーキッズ in 熊本」を開催いたし、お蔭様で無事イベントを終了し、成功させることができました。ご協力をいただいた方々には心からお礼を申し上げます。参加されたこどもたちの心に残るイベントになったことを確信しています。今後もこのような健康増進活動を継続して参ります。皆さまにおかれましてはご協力よろしくお願い申し上げます。

記

- 名 称** 第 9 回日本禁煙学会学術総会関連イベント 「タバコフリーキッズ in 熊本」
（「タバコフリー tobacco free」とは、「タバコがない」という意味です）
- 主 催** くまもと禁煙推進フォーラム、国立がん研究センター
- 協 力** 熊本市立西里小学校、熊本保健科学大学、サイエンス・サポート函館、
国立成育医療研究センター、株式会社インクス
- 日 時** 平成 27 年 9 月 8 日(火)～9 月 9 日(水)
- 対 象** 熊本市立西里小学校 6 年生 2 クラス 69 名
- 場 所** 熊本市立西里小学校および周辺地域、熊本保健科学大学

★「タバコフリーキッズ」は、国立がん研究センターが開発した、未来の地域社会の重要な担い手であるこどもたちを主役とした「がん予防」の啓発・教育プログラムです。こどもたちも一員である街・地域社会・コミュニティにおいて、こどもたちはテーマに沿った「情報採集」活動を行いながら、がんの原因であるタバコに関して「タバコはいる？いない？」をスローガンに、どうしたら「がんを予防」できるかを自身で考えていきます。タブレット端末やデジタルカメラなどのデジタル機器を駆使して集めた情報は、参加したこどもたち全員で共有し、話し合いを通じて学んだことを地域の人々の前でプレゼンテーションすることで、自分の言葉で表現し、メッセージを発信することの楽しさも学ぶことができます。

★熊本日日新聞、NHK、KKT、TKU、KABにて報道されました

Social Design



National Cancer Center

地域と一体になった、新しいがん予防教育による「ソーシャル・デザイン」の試み

国立がん研究センターの「タバコフリー・キッズ・ジャパン」とは

iPadなどのデジタル・デバイスを媒介とし、コミュニティにおける社会関係資本としての「地域の健康力」を未来の主役、「こどもたち」自身がつくりだしていきます。

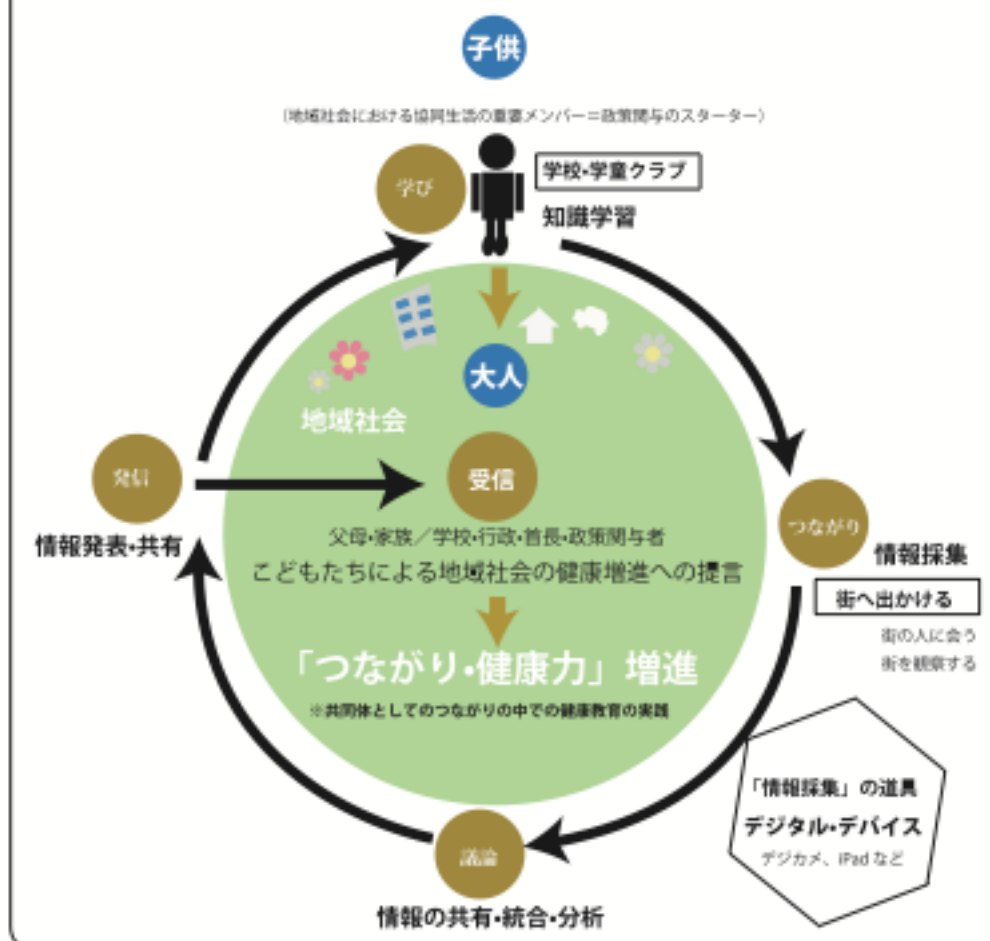
こどもたち × 地域 = 健康

家族や街の人みんなが、健康にくらすには？

タバコは、いる？
いない？

「がん予防」の一番は「禁煙」であること。たばこの煙の危険性、健康被害について学びます。

未来の主役、こどもたちからはじめる「地域健康力」の増進プログラム



メディア・リテラシー学習と「Tobacco Free Kids Japan」プロジェクト

プロジェクトの遂行では、こどもたちは積極的にiPadなどのデジタル・デバイスを使って、情報共有をはかります。

これからの社会デザインにおいては、デジタル・デバイスが単なる知識習得のための効率的な手段ではなく、生活観察の手段であり、情報共有による地域における「健康」や「つながり」といった社会関係資本の増進に積極的に活用される重要な道具であることをこどもたちのメディア・リテラシー学習をとらえて提示します。